

グリーン・オープンアクセス（グリーン OA）

大学等の機関リポジトリや分野別リポジトリ（科学技術振興機構の Jxiv、arXiv 等）などを通じてインターネット公開（セルフアーカイブ）することで、論文をオープンアクセスにする方法です。

グリーン OA は著者の費用負担はなく、無料で行うことができます。

学術出版社の学術雑誌に掲載された研究成果（論文等）をグリーン OA にする場合、多くの場合は、出版社が定める著作権ポリシー（公開ポリシー）により、エンバーゴ（公開禁止期間）が設定されていますので、エンバーゴ期間後にその他の公開条件を確認の上、オープンアクセス対応を行うことになります。

なお、機関リポジトリ等に公開できる論文の版は、「著者最終稿」に指定されることが多くなっています。

※「学術論文等の即時オープンアクセス義務化」はグリーン OA に該当します。

ゴールド・オープンアクセス（ゴールド OA）

著者が学術雑誌出版社へ APC（Article Processing Charge：オープンアクセス論文掲載料）を支払うことで、出版社が運営しているサイト上で投稿論文をオープンアクセスにする方法です。

出版と同時にオープンアクセスで無料公開されるため、研究成果をより早く発信することができます。

なお、掲載される論文が全てゴールド OA の雑誌は「フル OA 誌」や「ゴールド OA 誌」と呼ばれ、その出版コストは APC によって賄われています。